ゆきわり草

(公社)新潟県理学療法士会ニュース　No.181

発　行　日　　平成29年12月27日
発行責任者　　佐藤　成登志
会　員　数　　1,519名
事　務　局
公益社団法人 新潟県理学療法士会 事務局
新潟市中央区南笹口1丁目1番38号
コープオリンピア笹口303号
電 話　025－250－7660
FAX　025－250－7661

就業支援部の取り組み

就業支援部部長
上　路　拓　美

早いもので就業支援部が発足してから３年目を迎えました。就業支援部が新設されるときには、私自身、４人の子育てをしながら仕事を続けられたのは、周囲の人の支えがあってこそ、次は私が力になる番と思い、引き受けたつもりでしたが、実際活動を始めてみると、何をどうすればいいのかわからない事だらけの２年間でした。

１年目は会員の方は何に迷い、困っているのか知りたく Web アンケートを行いましたが、案内不足により回答率は 7.3％と低く、十分な現状把握には至りませんでした。しかしその結果から見えたことは、当県士会は全国よりも若い会員が多く、しかも女性会員の占める割合が高く、今後結婚、出産に関する事がより大きな問題になり得ることが考えられました。育児休業制度が浸透している現在ですが、それでも全ての希望する会員がとれる環境にはなく、実際、男性会員の取得しづらさ、また復帰後の育児と仕事の両立に不安を抱えている現状があります。育児と仕事を両立するために重要なことについてとの問いに、家族の協力や家庭環境としている者は 25.4％、職場の理解や協力としている者は 72.5％と、家庭環境よりも職場環境への不安が大きくなっていました。また会員の平均年齢が若いため、今のところは大きな問題にはなってはいませんが、今後親の介護が大きな問題になり得ることが考えられ、それに対しては県士会としても介護休暇制度に関する情報発信をしていく必要があると考えられました。

この結果を受け、職場環境に関し管理者がどのように考え、悩んでいるかを知りたく、２年目は管理職に就いている会員へのアンケートを実施しました。郵送で行った事もあり、45.9％の回答率を得ました。若い会員が多いこともあり、管理業務を行っている者の半数が 20 ～ 30 歳代で、また３分の１は役職には就いていないが、部内をまとめる立場にいました。管理職の殆どは臨床業務も行っており、業務の多忙さがうかがえる結果となりました。アンケート結果をまとめている最中ではありますが、就業支援部として、管理者、またこれから管理者になる会員のお手伝いが出来ればと考えています。

今後の活動に関しても、まだまだ悩んでいる最中です。就業支援部は常に全会員のお手伝いをするということは難しいのかもしれませんが、困った時、悩んだ時に何か力になれる部でありたいと思います。会員の皆様も是非ご意見をお寄せ下さい。

目　　次

就業支援部の取り組み…… 1
職場紹介…… 2
リレーエッセイ…… 3
学会・研修会参加記…… 4
平成29年度新人歓迎会開催される…… 5
公益事業部　事業報告…… 6
学術局生涯学習部だより…… 7
生涯学習部からのお知らせ…… 8
平成29年度(公社)新潟県理学療法士会第２回理事会議事録 … 9
来年(2018年)の年会費から、
会費納入期限が３ヶ月早まります!! …… 11
事務局ニュース…… 12
広報部ニュース…… 14
編集後記…… 14

職場紹介１

医療法人社団葵会　新潟聖籠病院

当院は平成28年９月１日に開院されたばかりの病院です。場所は北蒲原郡聖籠町で新新バイパス蓮野インター降りてすぐの所に位置しています。病院内のエントランスには、人工の滝が望め、カフェテリアも併設されています。「病院じゃないみたいだわ～」と患者家族等から好評を頂いています。ベッド数は、一般病床60床、療養病床180床の計240床です。又、20床の人工透析ベッドを設置し、腎機能低下症例の治療も行っています。

現在リハビリスタッフはPT17名、OT ８名、ST ９名、計34名が在籍しております。病院内全体のスタッフとの交流が多く、バスケットボールや野球、フットサルなどの余暇活動も定期的に行っており、明るく楽しい雰囲気の病院です。

私たち、リハビリテーション科の理念は、「全スタッフが患者一人ひとりの入院生活や退院後の生活、地域との関わりを考え、QOLの向上に努めます。」と掲げています。入院患者のリハビリや退院後のフォローは勿論ですが、地域連携の為に公開セミナーの実施や広報活動にも力を入れています。

開院して間もない病院ではありますが、地域に根付いた病院を目指してスタッフ一同が一丸となって頑張って行きたいと思います！

職場紹介２

社会福祉法人ひすい福祉会　デイサービスセンターおうみ

当施設は、糸魚川市の西部に位置し、青海地域を中心に通所介護サービスを提供しています。さらに、訪問介護、地域包括支援、居宅介護支援事業所を併設しています。当法人理念は「ひとりひとりが　すてきな笑顔で　いられる場所に」を掲げ、関わった利用者様・ご家族・地域の方が『笑顔でいられる場所』（＝笑顔で居続けられる場所）をつくりたいという気持ちが込められています。

デイサービスセンターおうみには専従の理学療法士（１名）が利用者一人一人にあった個別機能訓練計画書を作成し、介護士、看護師と連携し、充実した機能訓練を提供しています。利用されている方は、回復期から自宅退院後すぐに利用される方や、発症後何年か在宅生活を送り、機能訓練、通所介護の必要性を感じた方など様々です。

施設での機能訓練は、在宅生活が主体となります。病気や怪我をしてから長年経過した方が多いですが、現在の生活を長く続けていくために、日々、利用者様と一緒に考えながら在宅生活を支援させていただいています。

これからも当施設を利用して頂いている利用者、ご家族が「笑顔で居続けられる場所」を目指し、地域に根差した質の高い理学療法を提供していきたいと思います。

リレーエッセイ 1

「走る魅力」

悠遊健康村病院　**関　　真　耶**

突然ですが皆さんは「走る」事が好きですか？私は中学・高校・大学と陸上競技を続けていました。最近は走る事は少なくなりましたが、「走る」事は好きです。昔からよくこんな質問をされます。「走るだけで何が楽しいの？」「きついだけじゃない？」そう思っている方にぜひ「走る」魅力を紹介したいと思います。

魅力の一つとして、いつでもどこでも靴さえあれば一人で行えることです。他のスポーツは相手が必要、道具が必要の場合が多いですが、「走る」事は靴さえあれば他に道具は必要ありません。また、靴を選ぶのも楽しみの一つです。メーカーによって靴の形は様々で、自分の足に合った靴を見つける事は大切です。オーダーメイドでも作製可能で種類は無限大です。最近では妄走というアプリもおすすめです。本物のレースのように状況に合わせて実況してくれます。ぜひ、試してみてください。

「走る」事は嫌いな方も多いと思いますが、楽しみかたは幅広く、決してきついだけではありません。皆さんも楽しんで走ってみて下さい。

次は介護老人保健施設越南苑の鈴木悠さんです。よろしくお願いします。

リレーエッセイ 2

「チャレンジ」

長岡保養園　**今　井　啓　介**

体を動かすことが好きな私は、職場の方に誘われ様々なスポーツにチャレンジしています。マラソン、Eボート、自転車耐久レースといったスポーツに出場しました。どれも初めてのことでしたが、何事にもやってみる精神の私は積極的に参加しています。実際に大会に出場して良い結果だけでなくよくない結果の時もありました。マラソンや自転車では足が動かなくなるほどでしたが、持ち前の精神力で最後まで走り切ることが出来ました。大会が終わってから達成感とともに来年も参加したいと考えている自分がいます。また、職場の方々とスポーツを通じて交流を深めることで、チームワークが向上し業務に関しての相談や多職種との連携が取りやすくなりました。

今度ママチャリ耐久レースが開催されます。今は体力作りのためママチャリに乗っています。バーベキューをしながら楽しく参加できるので、ぜひ皆さんも来年参加してみませんか。

次は南魚沼市民病院の北村ひかるさんです。よろしくお願いします。

学会・研修会参加記

【第100回記念研修会へ参加して】

けいなん総合病院　理学療法士　**今　井　元　康**

７月９日、朱鷺メッセ新潟コンベンションセンターにて、第100回記念研修会に参加させて頂きました。日本福祉大学の松原貴子先生をお招きして「慢性疼痛の治療革新！慢性疼痛リハはここまで変わった」と題して、疼痛に対する基礎的な知識から臨床応用まで理解しやすい講義をして頂きました。

疼痛の訴えに対して対等に向き合い、可能な範囲から運動を促すことで情動・認知の改善が図れることを学びました。

日々の臨床では疼痛に対するアプローチに苦戦することが多いですが、今回の研修で学んだことを活かしていきたいと思います。

今後も疼痛について勉強することで患者さん、利用者さんへ学んだことを還元できればと感じました。

最後に今回の研修会に企画、運営をしてくださったスタッフの皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

【第25回日本腰痛学会参加記】

新潟中央病院　**野　嶋　素　子**

11月３・４日に東京コンファレンスセンター品川で開催されました、第25回日本腰痛学会に参加させて頂きました。学会テーマ「腰痛治療のカクシン（革新・核心・確信）」に基づき、各種シンポジウム、教育講演の他、演題発表が行われ、900名を超える参加者の中、いずれの会場も活発な議論が繰り広げられていました。近年、腰痛に関して多職種による治療体系が確立されつつあり、治療効果の判定も多角的に行われていることを学びました。演題発表は260題を超え、その内約65題がコメディカルの発表であり、当院からも理学療法士２名、看護師１名が口述発表しました。私は、「Ｌ５、Ｓ１神経根障害の術前臨床像と歩行」という演題で発表させていただき、医師をはじめ、他県の理学療法士から質問や助言を頂き大変参考になりました。また、コメディカル部門において最優秀演題賞の候補（５演題）に選出していただきました！（最優秀賞は逃しましたが）今回のテーマであるＳ１神経根障害については約３年に渡り研究を行ってきました。開始当初は文章も書けず、統計もわからず、わからないづくしからの出発でしたが、上司や同僚の力を借りてなんとかこのような学会で発表させていただき、最優秀演題の候補に選んでいただくことも出来ました。研究を進める中で勉強することが沢山あり、今後それを少しでも患者様の治療に活かしていくよう努力していきたいと思います。

「平成 29 年度新人歓迎会開催される」

厚生部長
風　間　美　子

去る10月28日、第26回県学会開催と同日に平成29年度新人歓迎会が開催されました。今回は新潟開催ということで、会場も新潟駅前のプラスサードという交通の便の良いところで開催することが出来ました。

午後７時、佐藤会長の挨拶の後、五十嵐副会長の乾杯の音頭で歓迎会が始まりました。五十嵐副会長からは、今回参加頂いた斎藤洋明衆議院議員秘書若狭健太氏の紹介がありました。若狭氏は新潟医療福祉大学卒業後、他県で理学療法士として活躍された後、議員秘書として頑張っておられるとのことでした。今後も理学療法士の資格を持った秘書として議員の活動を支え、理学療法の発展に寄与していただくことと期待しております。

その後、今学会大会長の髙橋明美先生から挨拶を頂いた後、各々懇親を深めていただきました。

そして恒例の新人自己紹介となり、登壇した新人の皆さんには自己ＰＲをして頂きました。新人の方は大勢の方の前で話をすることは大変だったのではないでしょうか。今回はその他にも４名の新人の方と一般会員の方にも登壇頂き、簡単なアトラクションもさせていただきました。ご協力いただいた方には急なお願いで大変申し訳ありませんでした。

途中、次期大会長厚生連三条総合病院の小黒先生より、次期大会への意気込みをお話しいただきました。来年の第27回県学会は燕三条が会場となります。学会、新人歓迎会共に大勢の参加をお待ちしております。

和やかに進んできた歓迎会も、最後は中山副会長の一本締めで無事終了することができました。

今回、講師である重森先生にも参加頂き、アトラクションにもご協力いただきました。講師と直接話が出来る機会というのは大変貴重なことで、参加した会員も色々な話が出来たのではないでしょうか。

当初参加希望者が少なくさみしい開催かと思われましたが、103名という多くの参加が得られたことは理事、並びに準備委員の皆様のおかげと感謝しております。この場をお借りしてお礼申し上げます。

各種車椅子・座位保持装置・ベッド・コミュニケーションエイド
福祉機器・介護用品・介護保険レンタル・住宅改修
㈱ G・T・B (オーエックス新越)
〒956-0017 新潟県新潟市秋葉区あおば通2-28-27
TEL 0250-25-2626　FAX 0250-25-7710
http://www.gtb-niigata.jp

D.M.S ㈱デムス
住宅機器・福祉器具・障害器具等販売
NISSINの車椅子
メーカー直　PARAMOUNTのベッド
エンゼルの看護用品
〒940-0056 長岡市呉服町2-2-15　TEL 0258-35-5915

Hil 看護リハビリ新潟保健医療専門学校
厚生労働大臣指定理学療法士養成施設・看護師養成所
〒950-0086　新潟市中央区花園２-２-７
TEL:025-240-0003　FAX:025-241-6655
URL: http://www.hi-college.ac.jp

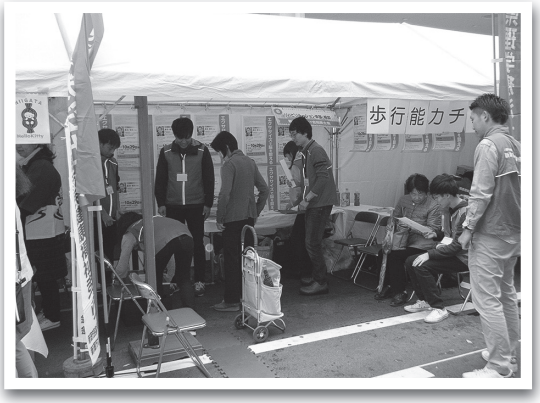
有限会社 長谷川義肢製作所
〒951-8124 新潟市中央区医学町通り1-44
電話 (025) 223-3630
FAX (025) 222-2750

公益事業部　事業報告

新潟市民健康福祉まつり

公益事業部長　柳　保

10月15日、万代シティにおいて新潟市民健康福祉まつりが開催され参加いたしました。朝からビミョーな天気の下、当士会ブースでは２ステップテスト及び立ち上がりテストを実施、会員スタッフ10名で対応し、当ブースには129名の来場がありました。忙殺されながらもスタッフも楽しみながら健康寿命と介護予防、理学療法士についてアピールできました。



全てはお客様の笑顔のために
まごころ印刷の
株式会社タカヨシ
帳票
発送代行
ラベル・シール
WEB・デジタル
■本社・工場
〒950-0141 新潟市江南区亀田工業団地1丁目3-21
TEL(025)381-2000㈹
医療関係印刷物はタカヨシで http://www.takayoshi.co.jp

水治療法機器　運動療法機器　作業療法機器
電気療法機器　入浴装置　ＡＤＬ用品
KMK 源川医科器械㈱
本　　社 新潟市中央区東中通2番町279番地 ☎(025)229-7766
長岡営業所 長岡市稲保４丁目７２０番６号 ☎(0258)22-6711
上越営業所 上越市春日山町３－１８－５４ ☎(025)525-2521

義肢・装具・車いす・インソール
ご相談、ご用命は弊社にお任せください。
㈱田村義肢製作所
〒950-1151 新潟市中央区湖南21-11
TEL：(025)281-0303
FAX：(025)281-0339
田村義肢 検索

学術局生涯学習部だより

学術局担当　**髙　鳥　　真**

会員の皆様には平素より学会・研修会の活動にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

過日行われました第26回新潟県理学療法士学会には、多くの会員にご参加をいただきまして大変ありがとうございました。会員参加数434名と過去最高の参加をいただき盛会裡のうちに終了することができました。髙橋明美大会長、松林義人準備委員長、小出しのぶ準備委員、久保田雅史準備委員、内藤翼準備委員には、ご多忙の中１年以上にわたりご準備頂き大変感謝しております。また当日の運営に携わって頂いた運営委員の皆さま、本当にありがとうございました。

次回、第27回新潟県理学療法士学会は初の県央地区での開催です。開催に向けてすでに準備がはじまっております。

会　期：平成30年11月17～18日
会　場：燕三条地場産業振興センターリサーチコア
学会テーマ：「理学療法は住民のもの～手をつないだ連携～」
大　会　長　小黒孝夫先生（厚生連三条総合病院）
準備委員長　目崎保先生（岩室リハビリテーション病院）
準備委員　熊木裕先生（燕労災病院）、富所和美先生（三之町病院）、小海努先生（富永草野病院）、松宮健二先生（済生会三条病院）

本年度同様、変わらぬご協力をお願い致します。

先号でご案内しました日本理学療法士協会の新生涯学習システムについては、実施が**平成33年４月に延期**になりました。

※新制度開始時点　（平成33年４月）　で新人教育プログラム未修了者は、現新プロの履修済テーマは全て失効扱いとなります。すなわち、未修了者は新制度で一から再履修となります。

※認定理学療法士を目指されている方は、早めの取得をおすすめします。

今後、協会から詳しい制度の概要など説明があります。協会、県士会からの郵送物を十分ご確認いただき、各自マイページで現在の生涯学習の履修状況を把握して下さい。

H29年度研修会予定　　**（12月現在）**

日　程	研修会	テーマ/講　師	会　場
平成30年 1月21日	第101回研修会	「新潟県フレイル対策検討会の事業について」　和泉　徹　先生　（新潟南病院医師）／シンポジウム「フレイル克服のために理学療法士ができること」ファシリテーター：新潟医療福祉大学　椿 淳裕 先生　※新プロ同時開催予定	看護リハビリ新潟保健医療専門学校
2月11・12日	中越ブロック 主催研修会	「筋緊張異常・体幹機能の評価とアプローチ」 鈴木俊明先生（関西医療大学）	晴陵リハビリテーション学院
2月17・18日	理学療法士講習会 応用編②	「徒手的理学療法　－頸椎・上部胸椎の評価治療とクリニカルリーズニング－」　藤縄理先生（埼玉県立大学）/荒木茂先生（石川県立明和特別支援学校）	新潟労災病院
3月10・11日	第32回 技術研修会	「肩関節疾患の評価と治療」（仮） 西川仁史先生（甲南女子大学）	新潟医療福祉大学

原則として参加承認後のキャンセルに伴う返金は出来ません。また、参加費の支払いをせずに欠席された場合でもご入金頂く場合がございます。あらかじめご了承ください。

入会申請後に会員証がお手元に届いていない方でも会員番号がわかれば会員扱いとして研修会へお申し込みいただけます。その場合は、県士会HPからお申し込みください。ただし、入会申請中の方でマイページのIDならびにパスワード発行から３ヶ月以上経っても会費納入の確認ができない場合、順次会員権利が停止となります。その場合、申請中であっても「会員外」扱いとなります。ご注意いただき、かさねてご了承ください。

☆研修会申込み後のキャンセルについて

ご注意ください！　研修会申込み後のキャンセルについては返金ができません。

決済代行機能の利用に伴い、協会の決済後のキャンセルについては返金ができませんのでご了承ください、申し込みに際しては、よく検討した上でお申

し込みくださいますようお願い致します。また、止むを得ず欠席の場合は、キャンセル用アドレスからご連絡頂きますと幸いに存じます。 ご理解とご協力をお願い致します。
キャンセル専用アドレス：**pt.gakujutu@gmail.com**

○研修会DVDの貸出しについて
木戸病院　　江川　真司
E-mail：rehabilitation@kido-hp.com

○生涯学習（研修会）関連のお問い合わせ
桑名病院　　田中　健
E-mail：ken-pt@mail.goo.ne.jp

○学術誌関連のお問い合わせ
新潟リハビリテーション病院　　立石　学
E-mail：nirehp.m-tateishi@aiko.or.jp

○学術局全体のお問い合わせ
晴陵リハビリテーション学院　　髙鳥　真
E-mail：takatori@seiryou-reha.ac.jp

生涯学習部からのお知らせ

生涯学習システムでのよくあるご質問について

⑴新人教育プログラム　修了申請について
・新人教育プログラムの修了には、会員様ご自身での申請が必要です。
＜ご参考：修了申請手順＞
マイページへログイン ≫ メニュー「生涯学習管理」 ≫ 「履修状況確認」≫ 「新人」ボタン ≫ 「修了申請」ボタン をクリック
※修了要件を満たすと修了申請ボタンが表示されます。
・入会初年度においては、修了日は最短で入会年度末日となります。
例）2017年度入会者の修了日は、2017年12月に修了申請ボタンを押した場合、2018年３月31日（2017年度末）となります。
・認定・専門理学療法士申請ポイントは、新人教育プログラム修了日翌日からの活動が対象です。
・修了申請後、専門分野登録の画面に遷移致します。認定・専門理学療法士の要件となりますのでご登録が必要です。
・修了申請から１～２カ月後に、新人教育プログラム修了証を郵送致します。

⑵新人教育プログラム　２テーマ免除対象者につきまして
・B-３　統計方法論　　（１単位）
・B-４　症例報告・発表の仕方（１単位）
上記２テーマは、2012年度以降入会の学士または高度専門士取得者が免除となります。
対象者はご入会手続き完了後、自動的に免除となりますので、特に申請は必要ありません。
2012年度以降入会で、免除となっていない方は協会事務局にお問い合わせ下さい。

⑶ポイント履歴について
・マイページにて履修履歴の確認ができます。研修会に参加したのにポイントが反映されてない場合は、生涯学習部（桑名病院　田中　健　E-mail：ken-pt@mail.goo.ne.jp）までお問い合わせ下さい。

平成29年度
公益社団法人　新潟県理学療法士会
第２回理事会議事録

日　時：平成29年９月10日（日）　10：00～14：32
場　所：新潟県理学療法士会事務所
出席者：佐藤（成）、深川、中山、五十嵐、郷、風間、堀川、小林、松林、高鳥、田中、飯田、大野、棚橋、大島、高井
監事　佐藤（雅）、太田
欠　席：立石、上路、柳、相談役　小林

会長報告

・今後アクションプランの作成や課題の整理など行っていく。
・会長行動が報告　理事会承認

副会長報告

・各副会長行動が報告　理事会承認

議　題

１．議　案

①各部局平成29年度４月から９月までの活動報告

（総務部）
・平成29年度総会　６月25日(日)　看護リハビリ新潟医療専門学校
　会員総数1,517名　出席者数179名　委任状参加者852名
・今後の理事会日程確認
・12月16日　13時～２時間程度　事務局
（理事会承認）

（厚生部）
・祝電　３件
・新人歓迎会、懇親会　10月28日（土）　19：00～
新潟駅前　プラスサード
新人1,000円　その他の会員3,000円

（広報部）
・ロゴの商標登録を今年度内に申請する方向
・メルマガ登録　127件
県学会参加者に登録してもらうなど登録者数を増やす方法を検討　（理事会承認）

（生涯学習部）
・第100回研修会　260名の参加

（学術誌部）
・県学会　演題42題　過去最高となった。
・昨年度の大会長賞の表彰は、今年度の学会の次期学会長挨拶時に行う。　（理事会承認）

（スポーツ活動支援部）
・８月27日に研修会開催　47名の参加

（地域包括ケア推進部）
・シルバーリハビリ体操に関する「都道府県コーディネーター養成」
養成研修会に棚橋、大野が参加。

【専門職協議会活動】
・「地域包括ケアマニュアル」改訂版が９月中に完成予定
・主任ケアマネ更新研修会に講師として参加　５月18日
・新潟市難病対策地域協議会に参加　５月23日
・新潟県地域医療介護確保基金関連
研修会８月19,20日に研修会開催　長岡、新潟開催で172名の参加
10月15日（PT主催）11月19日（OT主催）に研修会開催予定
・介護予防活動普及展開事業（地域ケア個別会議の助言者育成研修）
県高齢福祉保健課より、県モデル事業による地域ケア個別会議の助言者育成を目指した研修を実施。→県士会からは棚橋、大野が参加。
（理事会承認）
山形県天童市をモデルにして８月31日、９月20日研修会、９月28日視察予定

（就業支援部）
・関ブロ　女性理学療法士の会に参加しているが、現在は情報共有のみとなっている。
・休会者アンケート実施予定
（理事会承認）

（公益事業部）
・活動報告　（理事会承認）
・今後介護予防キャンペーンを３地区で行うか検討
・高校生職場見学　各施設からの情報を高校側に提供　今後学校から各施設に連絡
・県学会で市民公開講座予定

（保険部）
・９月６日の審議会の中では回復期１の変更、地域包括ケア病棟の単位数の取り方の変更などが審議されている。
・訪問看護ステーションからの訪問リハについて月１回看護師と同行することが検討されている。
・答申は９月末か10月初旬に出る予定。今後も情報収集に努める。　（理事会承認）

（渉外部）
・10月６日　日本理学療法士連盟　政治資金パーティー　議員との懇談会

・８月31日医療福祉大学教育研究大会　小川先生記念講演
教育カリキュラムが遅れている。病院だけでなく予防へのシフトが必要
・その他活動報告　（理事会承認）
（日本理学療法士協会主催の事務局長会議報告）
・出来るだけ早急に会館建設を行う。
・山口議員は次回出馬しない。
議員出馬について連盟は代表を決める。それを協会が支持するかは別。

２．協議事項

①平成29年度今後の活動

（厚生部）
・祝電申込み
ほぼ理事のいる職場のみ　周知されていない現状
今後周知方法検討　（理事会承認）
（財務部）
・地域包括ケア推進部、公益事業部も仮払い口座必要
ゆうちょ銀行での口座開設は制約厳しい、一般銀行で開設する。　（理事会承認）
・研修会参加費の収入額が分からない。手数料がそれぞれ違うことが原因
（障がい児・者支援委員会）
・予算立てしていないため、処理上は社会職能局渉外部とする。
・今年度は、情報収集や委員会会議に留めて、次年度から必要に応じて予算を検討する。
（理事会承認）
（広報部）
・ホームページについて
県内施設の更新は随時行っていく。
会員数は新しいデータに修正した。
（理事会承認）
（生涯学習部）
・専門理学療法士を取得するには査読の有る論文投稿が必要となっている。
・本士会の学術誌は査読システムが既にあるが、文書化して会員への周知が必要である。
（理事会承認）
（スポーツ支援部）
・肘検診　12月16、17日
（地域包括ケア推進部）
・胎内市より個別ケア会議に参加予定だが、支援希望あり。
サポートして情報共有する。
交通費等の問題があり、支援者には地域包括ケア推進部の活動費から支出
今後は県から旅費の支援出るかどうか確認必要。出ないならばブロックで対応。
・胎内市、新発田市、十日町市の３市のモデル事業については、県が旅費を支出。
10月以降に行うが、その後については県、市がどのように考えていくか不明のため、県の担当者に確認する。
・集いの場などの依頼があるが、無償での対応は行わない。　（以上理事会承認）
（表彰委員会）
・表彰規定の作成、見直し　人命救助、善行分野等
（障がい児・者支援委員会）
・対象者は障がい児（成人した障がい児）
・学会研修部と連携強化　生涯学習プログラムのポイント取得　（以上理事会承認）
（災害対策委員会）
・災害マニュアルを作成
・災害についての研修会開催
（県学会）
・市民公開講座と特別講演が講師の都合で重なってしまった。
・ブースに部員を配置し各部局の紹介する場を設ける。来年度以降検討　（理事会承認）
（ブロック運営委員会）
・拡大理事会の時期について　次年度の事業計画を立てるときには必要
12月16日に拡大理事会を開催する。
（理事会承認）

次回理事会　平成29年12月16日（土）13：00～
新潟県理学療法士会事務局

来年（2018年）の年会費から、会費納入期限が3ヶ月早まります!!

2018年度より、事業年度が開始する4月以前に、会費を納入いただくことになりました。

納入期限　3月31日

楽天カード　**口座振替**　**2018年3月27日引落**

引落登録のない方　**2018年3月上旬より振込用紙順次発送予定**

今までは6月末までに当年度会費を納入していただければ、会員としての権利をすべて行使いただくことが可能でしたが、2018年からは年度開始前の**3月末までに納入がなかった場合は、4月より会員権利全面停止**とさせていただきます。また、**6月末までに納入がなかった方は会員資格喪失により退会**となります。ご注意ください。

会員の皆様へご協力のお願い

＜4月以降の異動が決定した方＞（特に県外へ異動される方）

2018/1/1以降、お早めに異動申請をお手続きください。

（2/20までに申請された方は異動先の士会所属としてご請求します）

＜2018年度の休会・復会・退会を希望される方＞

2018/1/1～2/20にお手続きをお願いします。

（2/21～4/1の手続きは、年会費引落後に返金となる場合がございます。）

＜振込でお支払されている方＞

決済方法を楽天カードもしくは口座振替へご変更ください。

請求書が発送されてから納入期限までの期間が今までより短くなります。納入忘れのないよう、お早めに引落への切替えをお願いします。

詳細は、日本理学療法士協会HPの「年会費」ページまたはFAQよりお問合せください。

ふれ愛にいがた（社会福祉法人 新潟県身体障害者団体連合会）
新潟県フレイル克服プロジェクト事業実施報告書（公益財団法人新潟県健康づくり財団）
年報ひたちの平成28年度（茨城県理学療法士会）
ソーシャルワーカー協会だより　第108号
ＱＲＬサポーター新潟Ｎo.44（新潟医療福祉大学）
next ＳＴage 第65号（2017年7月）（新潟県言語聴覚士会）
NoLimit vo l .70 71（公社）日本障がい者スポーツ協会
老健にいがた第42号
陽光No.18（公益社団法人新潟県健康づくり財団）
JPTANEWS No.308 309
新潟社会福祉士 実践報告 第16号
平成28年度センター年報（新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター）
平成27年度9月関東・東北豪雨におけるJRAT活動報告書（茨城県）
熊本地震災害リハビリテーション支援活動報告書（大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会）
ＤＶＤカタログ（株式会社アローウィン）

３　異動･休会･復会･退会の手続きについて

異動（休退会含む）が生じ次第、速やかに協会マイページより、変更手続きをお願い致します。

休退会、転出については、年会費の未納がある場合はお手続きが出来ません。納入確認後にお手続きをお願いします。※マイページID、パスワード紛失の場合は日本理学療法士会TEL:03-6804-1421へお問合せ下さい。

＜自宅会員へのお願い＞

現在、施設に所属していて自宅会員で申請している方へお願いです。

所属施設でまとめて郵送物を受け取れますよう自宅から施設への変更手続きを協会マイページより変更手続きをお願い致します。

［問い合わせ］
〒950-0912　新潟市中央区南笹口１丁目１番38号
コープオリンピア笹口303号
公益社団法人　新潟県理学療法士会　事務局　宛
TEL：025－250－7660　FAX：025－250－7661
（電話対応は月曜～金曜の９：00 ～ 16：00）
E-mail：jimukyoku@nipta.jp

広報部ニュース

メールマガジン（メルマガ）への登録をお願いします。

当会では、会員への迅速な情報発信と、ペーパレス化の実現に向けて、メルマガを構築いたしました。平成30年度より、随時情報をメルマガに移行していきます。

ホームページ右下の「メルマガ登録」をクリックしていただき、氏名・会員番号・メールアドレスを入力していただくだけで、とても簡単にできます。メルマガは会員に限定した情報を発信するため、入力の際はお間違えのないようにお願いいたします。

（※会員であることが認証できない場合は、メルマガの配信を停止いたします。）

ご協力をお願いします。

ホームページ：http://nipta.or.jp

編集後記

平成29年度も残り数ヶ月となりました。平成30年度は診療報酬と介護報酬の同時改定が行われます。理学療法士をはじめとしたリハビリテーション医療に対しての影響はいかがなものでしょうか。厳しい情勢の中、「私たちにできることは何か？」。常に私たちのすべきことを見失うことなく、理学療法士にしかできないことに邁進していきたいものですね。（Y）

ゆきわり草　No.181
編集責任者　松　林　義　人
問い合せ先　新潟リハビリテーション大学
〒958-0053　村上市上の山2－16
TEL（0254）56－8292
FAX（0254）56－8291
E-mail：matsubayashi@nur.ac.jp